

源氏物語夕霧卷古写本の仮名遣いと特異な表記

——池田本と大島本、河内本・陽明文庫本——

みなみ
南
よし
芳
ひろ
公
(本学名誉教授)

はじめに

源氏物語大島本で、行幸巻・夕霧巻における「たまふ」のウ音便の著しい偏在が指摘されている。⁽¹⁾ 小論では、前稿⁽²⁾で「おもたまへ」という特異な表記(「おも」の原形となる語は「おもふ(思ふ)」が夕霧巻に集中していることも確認した。「をもたまへ」という表記もみられた。一方、「思ふ」の仮名表記「をもふ」(終止形を代表形とする)全8例のうち、4例が浮舟巻に集中していた。その浮舟巻は、『源氏物語大成』校異篇の主たる底本である大島本には欠けているために、池田本が底本として用いられていた。従来、最善本として高く評価されてきた大島本の本文の位置づけが、現在揺らいでいるなかで、鎌倉期成立当初の基幹本文四十八巻をそのまま保持している池田本(伝二条為明筆本とも)は、今後の本文研究において大きな期待が寄せられている。そこで、本稿では、夕霧巻を対象として、前稿に引き続き、仮名遣い(ただし、オとヲのみ)について調査をするが、前述のことをふまえ、今回は、2018年に原本の影印(全十巻)の刊行が完結した池田本も比較の対象とすることとした。そのうえで表記についての若干の考察を加えることにしたい。

①大島本(池田亀鑑『源氏物語大成』校異篇の底本)

②池田本

③河内本系統である、尾州家河内本源氏物語

④別本のうち、陽明文庫源氏物語

以上、四つの本文の異同を先ず調査する。⁽³⁾

一

オとヲの仮名遣いについてみると、夕霧巻において、異同のある箇所は、〈オ↓ヲ〉では、用例数、延べ315語。〈ヲ↓オ〉では、用例数、延べ91語となる。これらを異なり語で、次のようにまとめた(複合語・派生語の立項のしかたで、異なり語数は多少数値が違ってこよう)。

・〈オ↓ヲ〉—85の語例(項目) ・〈ヲ↓オ〉—31の語例(項目)

以下、語例をそのまま()内に歴史的仮名遣いで見出し(項目)とした(適宜漢字表記を掲げる)。その見出しのもとに、当該箇所の用例をすべて掲げ、その所在を示すことにする。各用例は、先ず、大島本を底本とする『源氏物語大成』校異篇(あわせてカッコ内には新大系本)の本文により表記と所在を示した。次いで、そのあとに池田本、尾州家河内本源氏物語、陽明文庫源氏物語の所在を示す(それぞれ、大成・新・池・河・陽の略号で掲げ、池田本については丁数とオモテ・ウラの別を記す。諸本の洋数字(二桁以上は横書き)は頁数、丸数字は行数を表し、適宜原文も示す。なお、大島本と同じ本文を「同」として先に掲げ、異なるものは「/」で区切りを付けてそのあとに掲げる。さらに、各用例(大島本での表記)ごとに記号を加えたが、◇印は大島本で歴史的仮名遣いに一致する語例である。また、四本の仮名遣いがみな同じ場合には◎印を付した。なおまた、四本共通の場合とは別にして、『源氏物語大成』校異篇(大島本)と池田本との仮名遣いの異同に特に注目し、この二本間で同じ場合は○印を付し、異なる場合は「異」としたうえで△印を付した。

〈オ↓ヲ〉

- 〈おいらかなり〉◎おひらかに★大成1384③(新144⑬)、池73オ④同、河35⑫同、陽55③同
 〈こころおきて〉「心掟」◎御心をきて★大成1337⑥(新117⑭)、池37ウ⑧同、河19⑮同、陽40⑯同(御こころをきて)
 ◎御心をきて★大成1342⑪(殿の御心をきて)など新123⑥、池45オ①同、河23③同、陽48⑧同(御こころをきて)
 〈おきて〉「掟」○御をきて★大成1356⑦(新137⑤)、池63オ①同、河31③同*異文(をきて)／おきて陽51①*異文
 〈おきこ〉「掟」◎をきてさため★大成1342⑨(をきて定めて新123⑤)、池44ウ⑧同、河23②同、陽43⑦同
 〈おきな〉◇○おきな★大成1332⑦(新112⑭)、池31オ⑤同、河17①同／陽38①(を)

〈おく〉「奥」◇◎おく★大成1312②(新92⑦)・池5才②同、河4⑬同、陽26⑬同 ◇◎おくの★大成1335①(新115⑨)・池34ウ⑤同、河18①同(おくのかた)／陽39⑦(をくのかた) ◇◎おく★大成1356⑬(奥に人や新127⑫)・池50才①同、河25①同／陽45⑮(を) (人やをくに*語順異なる)

〈おく〉「置く」◎しをき給へれば★大成1321⑫(新102②)・池17ウ②同、河10①同、陽32③同 ○と、めをきて★大成1323①(新103⑤)・池19才②同、陽32⑰同／河11⑦(お) ◎と、めをきて★大成1373⑩(と、めをきて新154⑤)・池88ウ⑤同、河44④同、陽88③同 ○うしをきて★大成1336③(移しをきて新116⑪)・池36才⑥同、陽ち①同*異文(うしをかせ給て)／河19⑤*異文(うしをおかせ給て) ◎みたてまつりをきつる★大成1337④(見たてまつりをきつる新117⑫)・池37ウ⑤同、河19⑰同、陽ち①同 ○の給ひをきて★大成1342⑥(新123①)・池44ウ②同(のたまひをきて)・河22⑰同(のたまひをきて)／陽43⑤*異文(の給をきて) ◎をしをきて★大成1345⑦(新126④)・池48ウ②同(越)・河24⑬同、陽45①同 ◎うちをきて★大成1350⑤(新131②)・池54ウ⑤同、河27⑱同(おつうちをきて)・陽47⑭同(おつうちをきて) ◎こたえをく★大成1364⑬(新145⑨)・池74才②同、河36②同、陽55⑥同(とたへをく) ◎おとしをき給て★大成1371⑬(落としをき給て、新152⑧)・池88才⑧同(おとしをきたまふて)・河ち③同、陽59③同(おとしをきて)*重出 ◎けしきはみをきて★大成1374⑪(けしきはみをきて新155⑦)・池25才③同、河4⑰同、陽60⑭同

〈おく〉「起く」◇◎おきあかり★大成1328⑦(起き上がりたまうて新108⑬)・池25ウ①同、河14①同／陽35⑮(を) ◇△おき給はず★大成1333⑨(新114①)・河17⑬同(おきたまはず)／池22ウ⑤異(をきたまはず) ◇◎おき給ふ★大成1333⑩(新114②)・池32ウ⑦同、河17⑭同(おきたまふ)／陽38⑫(をき給) ◇◎おきあかり★大成1333⑭(起き上がり給へる新144⑩)・池72ウ⑦同、河35⑥同／陽54⑱(を)

〈おくり〉「送り」◎御をくり★大成1311⑬(新92③)・池4ウ⑦同、河4⑬同、陽26⑰同
〈おくる〉「後る・遅る」◎をくれきこえし★大成1330⑭(新111⑦)・池29才④同、河16③同、陽37④同

◎をくれし★大成1339④(をくれじと新119⑬)・池ち⑨同、河21②同、陽41⑱同
〈おくらかす〉「後らかす」◎をくらかし★大成1351⑭(をくらかし給ふ新132⑫)・池56ウ①同、河28⑩同、陽48⑲同

〈おもておこし〉「面起こし」◇△おもておこしに★大成1351⑦(新132⑦)／河28⑤同／池56オ⑦異(を)／陽48⑨(を)＊重出
 〈おこす〉「起こす」◇○心をおこして★大成1338⑪(新119④)／池39ウ⑥同／河20⑮同(まゝろをおこして)／陽41⑦(心を「(を)こして」)

〈おこる〉「起こる」◇◎おこりて★大成1331⑨(風おこりて新112②)／池30オ②同／河16⑩同／陽37⑪同

〈おこたる〉「怠る」◎をこたり給★大成1341③(新121⑬)／池42ウ⑪同／河22④同(をこたり給ふ)／陽42⑪同

〈おこなふ〉「行ふ」○あつかひをこなふ★大成1370⑥(扱ひをこなふ新151③)／池81ウ③同／河39⑦同／陽58⑩(あつかひおこなう)
 〈おごる〉「驕る」◎をこらさらむ★大成1363⑤(新143⑮)／池71ウ⑨同／河35②同／陽54⑫同(をこらさらん)

〈おさふ〉「押さふ」◇△おさへ★大成1317⑥(新97⑪)／池12オ①異(「おさしを」)／河7⑱(「おさしを」)／陽29⑫(「おさしを」)／さえ

〈おしはかる〉「推し量る」◇△おしはかり★大成1333⑦(新33⑫)／池6ウ⑩異(を)／河5⑫(を)／陽27⑧(を)◇△おしはかり★

大成1334②(新114⑨)／河18①同／池33オ⑩異(を)／陽38⑫(を)◎をしはかる★大成1340①(新120⑪)／池41オ⑪同／河21⑪同／陽42①同◇△おしはかりきこえ★大成1340⑧(新121④)／池42オ④異(「事を」)／しはかりきこえ／河21⑫(「事を」)／

しはかりきこえ、陽42⑥(を)◇△おしはかりて★大成1341⑨(新122④)／陽42⑫同／池3ウ①異(を)／河22⑨(を)◇△おしはかり★大成1359⑬(新149⑩)／河33③同／池67オ⑨異(を)／陽52⑯(を)◎をしはかり★大成1359③(新139⑭)／池

66ウ①同／河32⑭同／陽52⑩同◇△おしはからせ給へ★大成1362①(新142⑪)／池70オ⑥異(を)／河34⑦(を)／陽54①(を)〈おす〉「押す・圧す」◎をし★大成1334⑭(新105⑤)／池21ウ②同／河12⑩同／陽33⑰同◇△おしきたさせ給ふ★大成1327⑧(お

しくださせ給ふ新107⑬)／池24ウ⑥異(をしくださせたまふ)／河14①(をしくださせたまふ)／陽35⑥(をしくださせ給)○めをしほりて★大成1330⑦(目をしほりて、新110⑭)／池28ウ②同(めをしほりて)／河15⑮同(めをしほりて)／陽36⑯

*異文(めをしほりて「*目を」を「助詞か」)◇△おしひねりて★大成1330⑪(新111④)／池28ウ⑨異(を)／河15⑲(を)／陽37⑳(を)

◇△おしすりて★大成1334⑭(硯おしすりて新115⑦)／池34ウ④異(を)／河18⑩(を)／陽39⑥(を)◇△おしこめて★大成

1338④(新118⑫)／池39オ①異(を)、河20⑨(を)、陽41②(を) ◇△おしか、り給うて★大成1346⑫(新121⑧)／池24ウ①異(を)しか、りたまうて、河22①(を)しか、りたまうて、陽28⑧(を)しか、り給て) ◇△おしいて、★大成1347⑬(押し出でて、新128①)／池89ウ⑦異(*当該部分ナシ)、河25⑭(を)、陽27⑭(を) ◇△おしつ、みて★大成1350⑦(おし包みて、新131⑥)／池24ウ⑩異(を)、河27⑫(を)、陽47⑯(を) ○をしつ、みて★大成1374⑧(をし包みて新155③)、池86ウ⑦同、河41⑬同／陽60⑫(お) ○をしたちて★大成1359⑦(をし立ちて、新110③)、池86ウ⑧同、河32⑰同、陽52⑫同

<おそろし>◇○おそろしき★大成133①(新93⑥)、池6オ⑩同、河5⑧同／陽27④(を)

◇○おそろしく★大成1364②(新14⑫)、池73オ①同、河35⑪同／をそろしう陽55②

<ものおぢ>「物怖ぢ」◇△ものおぢ★大成1332③(ものおぢしたる新112⑩)／池30ウ⑧異(を)、河16⑯(を)、陽37⑰(を)

<おこ>「落こ」◇○おこる★大成1327⑬(雲を落こる。新108④)、池25オ⑥同、河14⑤同、陽35⑩同(お^レこる)

○おこる★大成1350⑦(新131⑤)、池54ウ⑩同、河27⑫同／陽47⑱(を)

<おこ>「怖こ」◇△おこちて★大成1311⑦(新91⑫)／池4オ⑦異(を)、河4⑨(「こを」、「ちこ」)、陽26⑦(「こを」、「ちこ」)

<おと>「音」◎を^レと★大成1313⑫(新94②)、池7オ⑩同、河5⑯同、陽27⑫同(を^レ) ○を^レと★大成1314②(新94⑥)、池7ウ⑦同、

河5⑯同／陽27⑭*異文(こま) ○を^レと★大成1315⑭(新96④)、池10オ③同、河7②同、陽28⑯同 ○を^レと★大成1317⑬(新98③)、

池12ウ③同、河8⑤同／陽29⑯(お) ○を^レとなく★大成1358⑩(新139⑥)、池85ウ⑦同、河32⑨同、陽52⑤同

<おとす>「落とす・貶す」◇○おほしおとしたる★大成1318④(新98⑨)、池13オ⑤同、河8⑨同／陽30②(おほしを^レいたる) *重出

◇○おほしおとす★大成1319⑩(新100①)、池14ウ⑨同、河9⑥同／陽30⑰*異文(を)もほしを^レとす *重出

◇○おほしおとす★大成1359⑧(おほし落とすらん新140⑤)、池67オ①同、河32⑱同／陽52⑬(を) *重出

◇○おとしをき給て★大成1371⑬(落としをき給て、新152⑧)、池83オ⑧同(おとしをきたまふて)、河40③同、陽59③同(おとしをきて) *重出

<おどす>◇○おどしきこえ★大成1372⑬(おどしきこえ給へば、新153⑧)、池84ウ③同／河40⑬(を)、陽59③(を)

<おとじる>「訪る」◎を^レとつれ★大成1309⑤(新89⑤)、池1オ①同、河3④同、陽25④同

- 〈おとど〉「大殿・大臣」◇○おと、★大成 1321 ⑨（新 101 ⑮）、「池 17 才 ⑧ 同、河 10 ⑨ 同／陽 32 ②（を）」◇○ち、おと、★大成 1337 ⑪（新 118 ④）、「池 38 才 ⑨ 同、河 20 ④ 同／陽 40 ⑮（を）」○大殿★大成 1339 ⑫（致仕ちよの大殿新 120 ⑥）、「池 41 才 ③ 同、河 21 ⑧ 同／陽 41 ⑮（をと、）」◇○おと、★大成 1344 ⑥（致仕ちよのおと、新 125 ②）、「池 41 才 ⑥ 同、河 24 ③ 同／陽 44 ⑦（を）」◇○おと、★大成 1351 ⑨（新 132 ⑨）、「池 56 才 ⑪ 同、河 38 ⑥ 同／陽 48 ⑩（を）」◇○おと、★大成 1362 ④（新 142 ⑮）、「池 70 才 ② 同、河 34 ⑩ 同／陽 54 ③（を）」◇○おと、★大成 1365 ②（新 145 ⑫）、「池 74 才 ⑨ 同、河 36 ④ 同／陽 55 ⑪（を）」◇○おと、★大成 1371 ③（新 151 ⑫）、「池 82 才 ⑩ 同、河 39 ⑬ 同／陽 58 ⑮ ⑤（新 153 ⑮）」、「池 85 才 ⑤ 同、河 48 ⑮ 同、陽 59 ⑮ 同」◇○ひんかしのおと、★大成 1375 ⑫（新 156 ⑨）、「池 88 才 ⑪ 同、河 48 ⑨ 同（ひむかしのおと、）」陽 61 ⑧ 同
- 〈おとなおとなし〉「大人・大人し」◇○おとなくしう★大成 1371 ③（新 151 ⑫）、「池 82 才 ⑩ 同、河 38 ⑬ 同／陽 58 ⑮ *異文（おとなしう）」〈おとなし〉「大人し」◇○おとなしう★大成 1381 ⑤（新 138 ⑤）、「池 56 才 ③ 同、河 28 ④ 同／陽 48 ⑦（なとなしう）」*傍線「を」右に「を」傍記
- 〈おとなしのたき〉「音無しの滝」◎をとなしの瀧★大成 1380 ⑭（新 131 ⑭）、「池 55 才 ④ 同（をとなしのたき）」、「河 27 ⑮ 同（をとなしのたき）」陽 48 ④ 同（をとなしのたき）
- 〈おとなひ〉◎をとなひ★大成 1312 ④（新 92 ⑨）、「池 5 才 ⑦ 同、河 4 ⑮ 同、陽 26 ⑭ 同
- 〈おとる〉「劣る」○心をとり★大成 1320 ⑩（新 101 ①）、「池 16 才 ④ 同、陽 31 ⑧ 同（こゝろをとり）」／河 9 ⑮（こゝろおとり）○みをとり★大成 1323 ⑦（新 103 ⑪）、「池 19 才 ② 同、陽 33 ② 同／河 11 ⑪（お）」△をとり給へる★大成 1338 ⑤（新 118 ⑭）、「陽 41 ④ 同／池 39 才 ⑤ 異（おとりたまへる）」、「河 20 ⑩（おとりたまへる）」△をとりめや★大成 1348 ⑨（新 129 ⑦）、「陽 46 ⑬ 同／池 52 才 ② 異（お）」河 26 ⑯（お）
- ◇○おとらす★大成 1354 ②（劣らずし給へれば、新 134 ⑮）、「池 59 才 ⑧ 同、河 29 ⑮ 同／陽 49 ⑮ *異文（とらす）」△をとらす★大成 1354 ③（をとらずなむありける。新 135 ①）／池 59 才 ⑨ 異（お）」、「河 29 ⑮（お）」陽 49 ⑮ *異文（おとらさりけり）」
- 〈おごろかす〉「驚かす」◇○おとろかされて★大成 1333 ⑨（新 114 ②）、「池 32 才 ⑥ 同、河 17 ⑭ 同／陽 38 ⑫（を）」
- ◇○おとろかしかほに★大成 1346 ④（おごろかし顔に新 127 ②）、「池 49 才 ③ 同、河 25 ④ 同／陽 45 ⑧（を）」

◇○おとろかすへき★大成1350⑥(新131④)・池54ウ⑧同・河27⑫同／陽47⑬(を)

〈おどろく〉「驚く」◇○おほしおとろき★大成1326⑩(新107③)・池23ウ⑧同・河13⑪同・陽34⑪同 ◇○おとろきて★大成1334⑬

(新115⑥)・池34オ⑪同・河18⑨同／陽39⑤(を) ◇○おほしおとろく★大成1336⑨(新117③)・池36ウ⑧同・河19⑩同・陽

4⑤同

◇○き・おとろき給うて★大成1338⑪(聞きおどろき給うて新120⑤)・池11オ①同(き・おとろき給ふて)・河21⑦同(き・おとろ

きたまうて)／陽4⑩*異文(き・をとろきて) ◇○おとろかす★大成1346③(おとろかす新127①)・池49ウ①同・河25③同／

陽45⑦(を)【*「を」は、重ね書きによる訂正】◇○おとろきおほしたり★大成1353⑥(新134④)・池58ウ⑧同・河29⑧同(おとろ

きおほしたなり)／陽49⑨(をとろきおほしたなり) ◇○おとろきけり★大成1358⑧(新139④)・池51ウ③同・河32⑦同／陽52

④(を) ◇○おとろかれ★大成1371⑤(おどろかれたまうて、新151⑭)・池82ウ③同・河38⑮同(おとろかれて)・陽58⑮同(お

とろかれて)

〈おとろふ〉「衰ふ」△をとろへ★大成1369⑫(をとろへにたるありさまを新150⑦)／池80ウ③異(お)・河38⑰*異文(おとろへすき

にたるありさまを)・陽58⑳*異文(おとろへすき□たるありさま)

〈おとろく〉「衰へ」◇○おとろへや★大成1356⑬(新137⑪)・池63ウ②同・河31⑨同／陽51⑤(を)

〈おなじ〉「同じ」◇○おなじは★大成1315⑩(新95⑮)・池9ウ⑦同・河6⑮同・陽28⑬同 ◇△おなじさま★大成1327⑫(新108

③)・河14④同・陽35⑨同／池25オ③本行ナシ*補筆(き)えさせ給は、をなしさまに)※大成1327⑪の校異「きこえさせ給は、おな

しさまに一補入池」で「お」は誤り。 ◇○おなし★大成1347⑬(新128⑩)・池51ウ⑤同・河26③同／をなし陽46⑥ ◇○おなし★

大成1350⑩(新131⑩)・池55オ⑥同・河27⑮同／陽47⑱(を) ◇○おなしこと★大成1354⑧(おなじこと新135⑥)・池60オ⑧

同・河30①*同(おなしさま)／陽50①*異文(をなしさま) ◇○おなしは★大成1363⑨(新144⑤)・池72オ⑧同・河35⑥同

／陽54⑯(をなしは) ◇○おなし★大成1373②(おなじ所新153⑪)・池84ウ⑩同・河40⑮同／陽59⑭(「らうたきを」・なし)

〈おに〉「鬼」◇○おに★大成1363⑨(新144⑤)・池72オ⑧同・河35⑥同／陽54⑯(を) ◇○おに★大成1363⑩(新144⑥)・池72オ⑩同

一河35⑦同／陽54⑯(を) ◇○おに★大成1364②(新144⑫)・池72ウ⑪同・河35⑪同／陽55⑲(を)

〈おにがみ〉「鬼神」◇○おに神★大成1363②(新143⑫)／池71ウ②同／河34⑬同／陽54⑩(を)

〈おにし〉「鬼し」◇△おにしう★大成1361⑬(鬼しうはべる新142⑩)／河34⑬同／池70オ②(を)／陽53⑬(を)

〈おのおの〉「各各」◎をの／★大成1357⑧(新138⑤)／池64オ⑧同／河31⑮同／陽51⑫同

〈おのが〉「己が」◎をのか★大成1362⑩(をのが上知らぬ新143⑥)／池71オ②同／河34⑭同／陽54⑦同

〈おのがどち〉「己がどち」◎をのかとち★大成1323⑦(新103⑫)／池19ウ④同／河11⑫同(をのかし)＊異文、陽33③同(をのかし)＊異文

＊異文

〈おのがじし〉◎をのかし、★大成1310①(新90③)／池2オ⑪同／河3⑫同／陽25⑩同

〈おのづから〉○をのづから★大成1312③(新92⑧)／池5オ⑤同／河4⑰同／陽26⑭(お)○をのづから★大成1317②(新97⑥)／池11ウ②同／河7⑭同／陽29⑨(お)◎をのづから★大成1319⑪(新100③)／池15オ②同／河9⑧同／陽30⑱同◎をのづから

★大成1322③(新102⑦)／池18オ①同／河10⑮同／陽32⑦同◎をのづから★大成1338②(新118⑨)／池38ウ⑧同／河20⑦同

陽41①同

○をのづから★大成1353⑥(新134⑧)／池59オ⑤同／河29⑩同／陽49⑪(お)○をのづから★大成1353⑬(新134⑮)／池59ウ①同／河29⑬同／陽49⑭(お)○をのづから★大成1364⑩(新145⑤)／池73ウ⑥同／河35⑰同／陽55⑦(お)◎をのづから★

大成1368⑥(新149④)／池79オ①同／河38④同／陽57⑥同◎をのづから★大成1373⑥(新154①)／池85オ⑦同／河41①同／陽59⑰同

◎をのづから★大成1373⑧(新154③)／池85ウ①同／河41②同／陽59⑱同

〈おのれ〉◎をのれ★大成1325⑫(新106②)／池22ウ③同／河12⑱同／陽34⑦同

◎をのれ★大成1337⑫(新118⑤)／池38オ⑩同／河20④同／陽40⑱同

〈おはします〉「御座します」◇○おはします★大成1311⑥(新91⑩)／池4オ③同／河4⑧同／陽26⑥同◇○おはしますと★大成1312②(新92⑦)／池5オ③同／河4⑯同／陽26⑬同◇○おはします★大成1315⑭(新96④)／池10オ④同／河7②同／陽28⑯同◇○おはします★大成1323⑩(新104①)／池19ウ⑩同／河11⑭同／陽33⑤同◇○おはしますと★大成1340⑥(新121⑤)／池42オ⑦

同、河21⑬同／陽42⑥＊異文(をはしぬ) ◇◎おはしまさし★大成135⑭(おはしまさじ。新123⑩)、池6才⑨同、河23⑥同、陽43⑪同 ◇◎おはします★大成134④(新123⑭)、池45ウ⑤同、河23⑧同、陽53⑬同 ◇◎おはします★大成1356③(新137①)、池62ウ②同、河31①同／陽50⑩(を) ◇◎おはします★大成1356⑤(新137②)、池62ウ⑦同／河31②＊異文(おはす)、陽50⑮＊異文(おはす) ◇◎おはしまし★大成1358②(新138⑭)、池65才③同／河32④＊異文(おはし)、陽51⑱＊異文(おはし) ◇◎おはしまさは★大成1366⑭(新147⑨)、池76ウ⑧、河37⑤、陽56⑫
 〈おはす〉「御座す」◇◎おはすれば★大成1311④(新91⑨)、池4才③同、河4⑧同、陽26⑥同 ◇◎おはす★大成1316⑤(新96⑩)、池10ウ④同、河7⑦同、陽29②同 ◇◎おはせば★大成1321⑧(新101⑭)、池17才⑥同、河10⑨同、陽32①同 ◇◎おはする★大成1335⑩(新105⑮)、池22才⑩同、河12⑫同／陽34⑥(を) ◇◎おはすとも★大成1326⑧(新106⑭)、池23ウ①同／河13⑳＊異文(おはすとも)、陽34⑭＊異文(おはすとも) ◇◎おはしにける★大成1331①(新111⑧)、池29才⑥同、河16③同、陽35⑤同 ◇◎ななめおはする★大成1335①(ななめおはする。新115⑧)、池34ウ⑤同、河18⑪同(ななめおはするに)／陽39⑦(ななめをはするに) ◇◎おはすまじき★大成1338⑬(新119⑦)、池39ウ⑩同、河20⑯同、陽41⑧同 ◇◎かへりおはすへき★大成1339⑤(帰りおはすへき事新119⑭)、池40ウ①同、河21③同／陽41⑫(返をはすへき) ◇◎おはしたる★大成1340⑦(新121②)、池42才①同、河21⑯同／陽5⑤(を) ◇◎おはせぬ★大成1340⑭(新121⑩)、池42ウ⑥同、河22③同／陽42⑩＊異文(物し給はぬ) ◇◎おはす★大成1345⑦(新126⑤)、池48ウ③同、河24⑬同、陽45①同 ◇◎おはするに★大成1349④(新130②)、池53才⑧同、河26⑱同／陽47③＊異文(つらすに) ◇◎おはしても★大成1349⑨(新130⑦)、池53ウ⑥同、河27②同、陽47⑦同 ◇◎おはす★大成1353⑦(新134⑥)、池59才①同、河29⑨同、陽49⑩同 ◇△おはしるて★大成1355⑪(新136⑩)、河30⑭同／池62才①異(を)、陽50⑲(を) ◇◎おはす★大成1358⑦(新139③)、池65ウ①同、河32⑦同、陽52③同 ◇◎おはして★大成1360⑨(新141⑥)、池68才⑧同／河33⑪＊異文(しはこ)、陽53⑥＊異文(しはこ) ◇◎おはせず★大成1363③(新143⑬)、池71ウ⑨同、河35①同／陽54⑪(を) ◇◎おはしつるぞ★大成1363⑨(新144④)、池72才⑦同、河36⑥同／陽54⑮(を) ◇◎おはすれ★大成1363⑩(新144⑥)、池72才⑩同、河35⑦同／陽54⑯(を) ◇◎おはする★大成1364⑨(新145④)、池73ウ⑤同、河35⑱同／陽55⑦(を) ◇◎おはす★大成1365②(新145⑫)、池74才⑦同、河36③同／陽55⑪(を) ◇◎おはす★大成1369②(新

149⑫) 池 79ウ④同、河 38⑨同、陽 57⑭同 ◇◎おはしける★大成 1369⑤ (新 149⑮)、池 80オ①同、河 38⑫同、陽 57⑯同 ◇◎おはせず★大成 1369⑪ (新 150⑯)、池 80ウ①同、河 38⑯同、陽 58①同 ◇◎おはする★大成 1370⑨ (新 151⑳)、池 81ウ⑤同、河 39⑧同、陽 58⑩同 ◇◎おはする★大成 1371① (新 151⑱)、池 82オ⑤同、河 39⑫同、陽 58⑭同 ◇◎あておはしける★大成 1371⑦ (率ておはしける、新 152①)、池 82ウ⑥同、河 39⑯同、陽 58⑰同 (あておはしける) ◇◎おはする★大成 1371⑪ (新 152⑥)、池 83オ④同、陽 59②同 (おはする) / 河 40① (を) ◇◎おはしける★大成 1371⑫ (新 152⑦)、池 83オ⑥同、河 39②同、陽 59②同 ◇◎おはす★大成 1373③ (新 153⑳)、池 85オ①同、河 40⑯同、陽 59⑤同 (おはする) ◇◎もておはして★大成 1373⑪ (持ておはして新 154⑦)、池 85ウ⑦同、河 41⑤同、陽 60④同 ◇△おはせましかは★大成 1374④ (新 154⑭)、河 41⑩同、陽 60⑨同 / 池 86オ⑩ (を) ◇◎おはす★大成 1375⑥ (新 156⑤)、池 88オ⑤同、河 42⑥同、陽 61⑥同 ◇◎おはしける★大成 1375⑩ (新 156⑨)、池 88オ⑥同、河 42⑦同、陽 61⑦同

〈おふ〉「生ふ」◇◎おふる★大成 1313⑩ (新 94①)、池 7オ⑦同、河 5⑯同、陽 27⑪同 ◇◎おひいてたまける★大成 1375⑪ (生ひ出でたまける。新 156⑦)、池 88オ⑧同、河 42⑦同 (おひいて給ける)、陽 61⑧同 (おひいて給) *異文

〈おふ〉「負ふ」◇△おひ給ふ★大成 1337① (負ひ給ふべき事新 117⑨)、河 19⑯同 (おひたまふ) / 池 37オ⑩異 (「もときを」)、「ひたまふ」、陽 59⑨ (をひ給) ◇◎おふ★大成 1354⑦ (各¹が負ふわざ新 135⑤)、池 80オ⑥同 / 河 30① *異文 (当該部分ナシ)、陽 50① *異文 (当該部分ナシ) ◇△おはせ給★大成 1356④ (世のもときをも負はせ給^{たまふ}べき。新 137②)、河 31②同 (おはせたまふ)、陽 50⑰同 / はせ給池 62ウ⑥異 (「よのもときをも」をはせ給へき) *「を」補筆

〈おほいどの〉「大殿」◇◎おほい殿★大成 1353⑭ (新 134⑬)、池 59ウ②同、河 29⑬同 (おほらとの) / 陽 49⑭ *異文 (おほとこの) / 池 3ウ②同、河 4③同、陽 28②同 (おほ^かたに) ◇◎おほかた★大成 1314③ (新 94⑧)、池 7ウ⑨同、河 6①同 / 陽 27⑯ *異文 (女はう) *当該部分ナシ △大かた★大成 1319① (新 99⑥) / 池 14オ② (おほかた)、河 8⑯ (おほかた)、陽 38⑩ (おほかた) ◇◎おほかた★大成 1325⑥ (新 105⑪)、池 22オ②同、河 12⑭同、陽 34③同 △大かた★大成 1330③ (新 110⑨) / 池 28オ⑥ (おほかた)、河 15⑫ (おほかた)、陽 36⑭ (おほかた) ○大かた★大成 1343⑥ (新 124②)、池 5ウ⑨同 (大方) / 河 23⑩ (おほかた)

陽43⑮ (おほかた) ◇◎おほかた★大成1345⑤ (新128③) 池48才⑩同、河24⑫同、陽44⑱同 ◇◎おほかた★大成1352③ (新133②) 池57才⑦同、河28⑬同、陽48⑲同 ◇◎おほかた★大成1353⑤ (新124③) 池58ウ⑥同、河29⑦同/陽48⑲ (大方) 〈おほかり〉「多かり」◇◎おほかり★大成1309⑥ (新89⑥) 池1ウ①同、河3④同、陽25④同 ◇◎おほかめれと★大成1333③ (新103⑧) 池19才⑥同、河11⑧同/陽32⑱ *異文 (おほめかれと「*「か」見せ消ち) ◇◎おほかれと★大成1330① (新110⑦) 池28才①同、河15⑩同、陽36⑲同 ◇◎おほく★大成1336③ (新116⑪) 池36才⑤同、河19⑤同、陽40①同 ◇◎おほくは★大成1341⑤ (新121⑮) 池43才④同、河22⑥同、陽42⑲同 ◇◎おほく★大成1347⑧ (新128⑤) 池51才⑥同、河25⑰同、陽46③同 ◇◎おほく★大成1347⑮ (新128⑩) 池51ウ⑤同、河26③同、陽46⑥同 ◇◎おほく★大成1348⑧ (新129⑤) 池52才⑪同、河26⑨同/陽46⑲ *当該部分ナシ ◇◎おほく★大成1356④ (新137②) 池62ウ⑤同、河31②同、陽50⑰同 (おほう) ◇◎おほくて★大成1358③ (新138⑭) 池65才④同/河32④ *異文 (おほえて) 陽52① *異文 (おほして) ◇△おほう★大成1368① (言の葉多う、新148⑩) 河37⑱同 (おほく) 陽57④同 (事ともおほかり) *異文/池78才⑥異 (「この葉を」) ほう ◇◎おほうも★大成1369④ (新149⑭) 池79ウ⑨同、河38⑪同、陽57⑱同 (おほくも) 〈おほしたつ〉「生ほし立つ」◇◎おほしたて★大成1347⑤ (生ほし立てたまう新128②) 池50ウ⑨同、河25⑱同、陽45⑱同 ◇◎おほしたて★大成1352④ (生ほし立てけむ新133③) 池57才⑧同、河28⑭同 (お、したて) 陽48⑱同 〈おほす〉◇◎めしおほせて★大成1342⑧ (召し仰せて新123④) 池4ウ⑦同、河23①同、陽43⑦同 〈おほせらる〉「仰せらる」◇◎おほせらる、★大成1362⑪ (新143⑦) 池71才④同、河34⑱同/陽54⑦ *異文 (まほりおほすらる) 〔*重ね書き〕
 〈おほぞら〉「大空」○大空★大成1337⑬ (新118⑥) 池38ウ③同 (大ぞら) /河20⑥ (おほぞら) 陽40⑰ (おほぞら) 〔*「お」重ね書きによる訂正〕
 〈おほつかなし〉◇◎おほつかなく★大成1322⑩ (新102⑮) 池18ウ④同、河11③同、陽32⑱同 ◇◎おほつかなき★大成1345② (新125⑭) 池48才⑤同、河24⑱同、陽44⑱同 ◇◎おほつかなく★大成1345⑦ (新126⑥) 池48ウ③同、河24⑱同 (おほつかなき) *異文、陽45①同

- 〈おほどかなり〉◇◎おほとかなる★大成1310⑧(新98⑪)池3才④同河3⑰同陽25⑮同◇◎おほとかに★大成1338⑤(新118⑬)池39才④同河20⑩同陽4③同◇◎おほとかに★大成1360⑪(新141⑧)池68才⑪同河33⑫同陽53⑦*異文(をひらかに)
 〈おほとなぶら〉「大殿油」◇△おほとなぶら★大成1329①(新109⑥)河14⑬同池26ウ⑥異(御となぶら)陽36③(御とのあふら)
 ○御となぶら★大成1331⑥(新111⑭)池29ウ⑦同(御となぶら)陽37⑨同(御とのあふら)河16⑧(おほとなぶら)
 〈おほと〉「大殿」◇◎おほ殿★大成1319⑬(新100⑤)池15才⑥同(おほと)河9⑨*異文(おほいと)大殿陽31①
 ◇◎おほと★大成1330⑤(新110⑩)池28才⑨同河15⑭同陽36⑮(大との)
 〈おほとのごもる〉「大殿籠る」◇◎おほとのごもりぬれは★大成1333⑤(新113⑬)池32才⑨同河17⑪同陽38⑩(御のごもりぬれは[*「は」左傍記「と」])◇◎おほとのごもり★大成1360①(大殿籠りにけり新140⑫)池67ウ③同河33⑤同陽52⑱(御のごもり)
 〈おほめかし〉◇◎おほめかしう★大成1317②(新97⑦)池11ウ④同河7⑱同陽29⑨同
 ◇◎おほめかしう★大成1348③(新128⑮)池52才①同河26⑥同陽46⑧同
 〈おほめく〉◇◎おほめいたまひ★大成1325⑥(新105⑫)池22才③同河12⑵同陽34④同(おほめき給)
 〈おほやけおほやけし〉「公公」◇◎おほやけしき★大成1344⑦(新125③)池47才⑦同河24③同(おほやけしき)*異文陽4⑦同
 〈おほゆ〉◇◎おほえて★大成1312⑤(新92⑩)池5才⑥同河4⑱同陽26⑮同(おほえこ)◇◎おほえ★大成1312⑪(新93①)池6才①同河5⑵同陽27①同◇◎おほえ★大成1316⑬(新97③)池11才⑦同河7⑫同陽29⑥同◇◎おほえ★大成1318③(新98⑧)池13才①同河8⑳同陽30①同◇◎おほえ★大成1318⑧(新98⑭)池13ウ②同河8⑳同陽30⑤同◇◎おほえこ★大成1321⑧(新101⑬)池17才⑥同河10⑳同陽32①(思ひこ)◇◎おほえ★大成1323⑥(新103⑮)池19ウ⑧同河11⑬同陽33④同◇◎おほゆる★大成1326⑭(ものおほゆる隙に新107④)池24才①同河13⑫同陽34⑱同◇◎おほえ給はす★大成1333⑭(新114⑦)池33才⑥同(おほえたまはす)河17⑱同(おほえたまはす)陽38⑯同◇◎おほゆるに★大成1335③(新115⑩)池34ウ⑥同河18⑲同陽39⑧同◇◎おほゆ★大成1335⑤(新115⑬)池35才④同河

18⑭同、陽39⑩同 ◇おほえぬ★大成1336⑩(新117③)、池36ウ⑨同、河19⑩同(おほえす)、陽5⑤同(おほえす) ◇おほえ給へき事を★大成1338⑪(新119④)、池39ウ⑤同、河20⑭同(おほえたまふに)*異文、陽1⑦同(おほえ給に)*異文
 ◇おほえ給はず★大成1339⑧(新120②)、池40ウ⑦同(おほえたまはず)、河21⑤同(おほえたまはず)、陽4⑭同 ◇おほえぬ★大成1340⑬(新121⑨)、池42ウ③同、河22②同、陽42⑨同 ◇おほえす★大成1341⑨(新122⑤)、池43ウ②同、河22②同、陽42⑩同 ◇おほゆれ★大成1344⑤(新125①)、池47オ④同、河24②同、陽44⑥*異文(おほゆれ) ◇おほえし★大成1344⑫(新125⑧)、池47ウ⑥同、河24⑦同(おほえし)、陽4⑩同 ◇おほゆる★大成1345⑭(新126⑫)、池4オ⑤同、河24⑧同、陽45⑤*異文(ある)*当該語ナシ ◇物おほえたまうし★大成1347⑭(新128⑫)、池51ウ⑦同(ものおほえたまうし)、河26④同(ものおほえたまひし)、陽46⑦同(ものおほえ給し) ◇おほえす★大成1358④(新138⑮)、池65オ⑥同、河32⑤同、陽52①同 ◇おほえはくれ★大成1362⑩(新143⑥)、池71オ③同、河34⑭同(おほえ侍れ)、陽52⑦同(おほえ侍れ) ◇おほえ給へは★大成1367⑥(新148①)、池77オ⑩同、河37⑩同、陽56⑯同 ◇おほゆる★大成1367⑪(新148⑤)、池77ウ⑧同、河37⑯同、陽57①同 ◇おほえはくれと★大成1368④(おほえはくれと、新148⑬)、池78ウ①同(おほえ侍れと)、河37⑯同、陽57⑥同(おほえ侍れと) ◇おほえぬ★大成1370⑨(新151③)、池81ウ④同、河39⑦*異文(おほえやむことなき*名詞)、陽58⑩*異文(おほえやむ事なき*名詞) ◇おほえ給へと★大成1371⑨(おほえ給へと、新152④)、池83オ①同(おほえたまへと)、河39⑯*異文(おほせと)、陽59①(おほ□給へと) ◇おほゆるん★大成1372⑨(新153③)、池84オ⑧同(おほゆるむ)、河40⑩同、陽59⑩同 ◇おほえ給★大成1372⑩(新153④)、池84オ⑧同(おほえ給ふ)、陽59⑩同 ◇おほゆる★大成1373⑦(新154②)、池85オ⑥同、河41①同、陽59⑯同 ◇おほえし★大成1375③(おほえじ新155⑭)、池87ウ④同、河42②*異文(おほし)、陽61①*異文(思はし)
 〈おほえ〉「覚え」◇おほえ★大成1332⑨(よそのおほえも新112⑬)、池31オ③同、河16⑯同、陽37⑱同
 ◇おほえ★大成1362⑦(新143③)、池70ウ⑦同、河34⑯同、陽54⑤同
 〈おほろけなり〉◇おほろけに★大成1335⑥(新115⑭)、池35オ⑥同、河18⑮同、陽39⑪(を) ◇おほろけにて★大成1337⑧(新118①)、池38オ③同、河20②同、陽40⑭同 ◇おほろけならず★大成1338⑩(新119③)、池39ウ③同、河20⑭同、陽41⑥同

〈おまじ〉「御座」◇○おまし★大成1312③(新92⑧)／池5才④同／河4⑬同／陽26⑬(を)◇○おまし★大成1331⑤(新111⑫)／池29ウ③同／河16⑦同／御まし陽37⑧◇○おまし★大成1333⑦(新113⑮)／池32ウ②同／河17⑫同／陽38⑪(を)◇○おまし★大成1335①(新115⑨)／池34ウ⑤同／河18⑪同／陽39⑦(を)◇○おまし★大成1355⑨(新136⑧)／池61ウ⑨同／河30⑬同／陽50⑪(を)

◇○おまし★大成1356①(新140⑫)／池67ウ②同／河33⑤同／陽52⑰(を)◇○おまし★大成1370②(新150⑪)／池80ウ⑪同／河39②同／陽58⑤同

〈おまじ〉「御前」◇○おまへ★大成1331⑩(新112②)／池30才③同／河16⑩同／陽37⑪(御前)○宮の御前★大成1343⑨(新124⑤)／池46才⑤同／陽43⑰同／河23⑬(宮のおまじ)◇○おまへ★大成1348①(御前おまじには新128⑫)／池51ウ⑧同／河26④(御まじ)＊補入記号のある補入、陽55⑦(御まじ)△御まへ★大成1362⑫(新143⑨)／池71才⑦異(おまじ)／河34⑯(おまじ)／陽54⑧(御前)

〈おもし〉「重し」◎をもし★大成1323⑧(新103⑭)／池19ウ⑥同／河11⑫同／陽33③同◎をもく★大成1339⑬(新120⑥)／池41才⑦同／河21⑨同／陽41⑱同○をもかりけり★大成1385⑥(新146①)／池74ウ⑤同／河36⑥(お)／陽55⑭(おもかりける)〈おもだたし〉「面立たし」◇△おもた、しう★大成1351⑥(新132⑥)／河28④同／陽48⑧同(おもた、しく)／池56才⑤異(「給ぶを」)もたたしう)

〈おもて〉「面」◇△にしおもて★大成1311⑤(新91⑩)／池4才③異(を)／河4⑧(を)／陽26⑨(を)◇△西おもて★大成1340⑪(新121⑦)／池42才⑩異(を)／河21⑱(にしをもて)／陽42⑦(にしをもて)◇△ひんかしおもて★大成1343②(新123⑫)／池5ウ②異(を)／河23⑦(を)／陽43⑲(を)◇◎おもて★大成1349⑥(新130④)／池53ウ①同／河26⑳同／陽47⑤同△みなみをもて★大成1358⑥(新139②)／河32⑥同／陽52②同／池65才⑪異(お)◇△ひんかしおもて★大成1370③(新150⑫)／陽58⑤同／池81才②異(ひとむかし越もて)＊「こ」見せ消ち)／河39③(を)◇△みなみおもて★大成1373⑪(新154⑦)／陽60④同／池85ウ⑧異(を)／河41⑤(を)

〈おもておし〉「面起し」◇△おもておしに★大成1351⑦(新132⑦)／河28⑤同／池56才⑦異(を)／陽48⑨(を)＊重出

〈ひたおもてなり〉「直面なり」◇○ひたおもてなへければ★大成1360⑥(直面なべければ、新114②)、池88才②同、河33⑧同、陽53③(ひたをもてなるへければ)

〈おもなる〉「面馴る」◇○おもなれ★大成1312⑪(新93①)、池5ウ⑪同、河5④同、陽27①同

〈おや〉「親」◇○おや★大成1322⑥(新102⑪)、池18才⑦同、河10⑩同、陽32⑨(を) ◇○おやこ★大成1322⑤(新102⑨)、池18才④同、河10⑩同、陽32⑧(を) ◇○おや★大成135⑫(新123⑧)、池ち才④同、河23④同(おやこ) *異文、陽39⑨(を)

◇○おやはらから★大成1349⑭(新130⑬)、池54才⑥同、河27⑥同、陽47⑪(を) ◇○おや★大成1352④(新133③)、池57才⑨同、河28⑭同、陽48⑯(を)

〈およぶ〉「及ぶ」○をよはさりける★大成1319⑪(新100②)、池14ウ⑪同、陽30⑰同、河9⑦(お)

〈おる〉「愚る・痴る」◇△おれて★大成1312⑫(新93②)、河5⑤同、池6才②異(を)、陽27②(を) ◇△おれまごひ★大成1332⑧(新112⑮)、河17②同、池31才⑥異(を)、陽38①(を) ◇△おれて★大成1373⑧(新154③)、河41②同、池85才⑪異(を)、陽59⑯(を)

〈おる〉「下る」◇○おりたなる★大成1310⑫(新91②)、池3才⑩同、河4③同(おりたる) *異文、陽26①(をりたむなる) ◇○おる、★大成1315⑪(新86①)、池9ウ⑨同、河6⑯同(おるる) / 陽28⑭(を) ◇○おり給ふ★大成1358④(下り給ふを、新138⑮)、池65才⑥同(おりたまふ) / 河32⑤ *当該部分ナシ、陽52①(をり給) ◇○おり給はず★大成1358⑤(下り給はず。新139①)、池65才⑧同(おりたまはず)、河32⑤同(おりたまはず) / 陽52①(を)

〈やまおろし〉「山風」◇○山おろし★大成1313⑫(新94③)、池7才⑩同、河5⑯同、陽27⑫(を)
◇○山おろし★大成1343⑤(新124①)、池45ウ⑦同、河23⑨同、陽43⑰(を)

〈おろかなり〉○をろかに★大成1312①(新92⑤)、池5才①同、河4⑯同、陽38⑫(お) ○をろかなりす★大成1321⑤(新101⑩)、池16ウ⑪同、河10⑥同、陽31⑰同 ○をろかならず★大成1326⑬(新107④)、池23ウ⑪同(「を」ろかならず)、河13⑫同、陽34⑯(お) ○をろかなり★大成1338①(新119⑨)、池ち才④同、河20⑯同、陽41⑩同 ○をろかには★大成1361⑭(新142⑩)、池70才③同、陽53⑯同(をろかにては) / 河34⑦(お) ○をろかなりさりし★大成1365②(新145⑫)、池74才⑧同、河36④*

異文（ふか、りし）、陽55⑩*異文（ふか、りし）

〈おろす〉「下ろす」◇○おろし給★大成1309⑬（新98①）、池2オ⑦同（おろしたまふ）、河3⑩同（おろしたまふ）／陽25⑨（をろし給）◇○おろしこめて★大成1349⑤（新130②）、池53オ⑪同、河26⑰同／陽47④（を）◇○おろし★大成1357⑪（おろしたてまつり新138⑧）、池64ウ④同、河31⑱同／陽51⑭（を）

〈ヲ→オ〉

〈あをくちば〉「青朽ち葉」◇◎あをくちは★大成1370⑥（新150⑬）、池81オ⑨同（越）、河39⑤同、陽58⑧同

〈あをにび〉「青鈍」◇◎あをにび★大成1370⑥（新150⑬）、池81オ⑨同、河39⑤同、陽58⑧同

〈くちをし〉「口惜し」△口おしう★大成1320①（新100⑦）、河9⑪同（くちおしう）／池15オ⑩（くち越しう）、陽31③（くちをしう）

○くちおしき★大成1332⑧（新112⑬）、池31オ⑦同、河17②同／陽38②（くちをしけれ）○くちおしけれ★大成1336⑩（新117④）、

池36ウ⑪同、河19⑪同／陽40⑥（を）○くちおしかるくき★大成1352④（新133③）、池57オ⑨同、河28⑭同／陽48⑩（を）

○くちおしからす★大成1353④（新134③）、池58ウ⑤同、河29⑥同／陽49⑧（を）○くちおしう★大成1360②（新140⑬）、池

67ウ⑥同、河33⑥同／陽53①（くちをしく）

〈をかし〉○おかしきころ★大成1310⑪（新91①）、池3オ⑧同、河4②同／陽25⑱（を）○おかしう★大成1313⑪（新94②）、池7オ⑧同、

河5⑮同／陽27⑩（を）○おかしう★大成1321③（新101⑧）、池16ウ⑨同、河10⑤同／陽31⑮（を）○おかしう★大成1321⑧

（新101⑬）、池17オ⑤同、河10⑧同／陽31⑮（を）○おかしき★大成1332①（新112⑧）、池30ウ④同、河16⑮同／陽37⑮（を）

○おかしき★大成1332⑦（新112⑭）、池31オ④同、河17①同／陽38①（を）○おかしき★大成1334⑦（新114⑮）、池33ウ⑪同、

河18⑤同／陽39②（を）○おかしき★大成1334⑨（新115①）、池34オ②同、河18⑥同／陽39③（を）○おかしき★大成1352①（新

133①）、池57オ⑥同、河28⑫同／陽48⑮（を）○おかしき★大成1362⑧（新143③）、池70ウ⑧同、河34⑳同／陽54⑤（を）

○おかし★大成1362⑫（新143⑧）、池71オ⑨同、河34⑯同／陽54⑧（を）○おかしき★大成1364⑤（いとおかしきまのみまさ

れば、新144⑮）、池73オ⑦同、河35⑬同／陽55④*異文（いとをしきはいのみまさりて）○おかしう★大成1368①（新148⑪）、

池 78 才⑥同、河 37 ⑩同／陽 57 ④ * 当該部分ナシ ◇○をかしう★大成 1372 ⑨ (新 153 ③)、池 84 才⑦同／河 40 ⑩ (お)、陽 59 ⑩ (おかしう) ○おかしう★大成 1375 ⑫ (新 156 ⑧)、池 88 才⑩同、河 42 ⑧同／陽 61 ⑧ * 異文 (しわざ)

〈をかしげなり〉○おかしげにて★大成 1310 ⑦ (新 90 ⑪)、池 3 才③同、河 3 ⑩同／陽 25 ⑮ (を) ○おかしげなり★大成 1364 ① (新 144 ⑪)、池 72 才⑨同、河 35 ⑩同／陽 55 ① (を) ○おかしげにて★大成 1373 ② (新 153 ⑫)、池 84 才⑪同、河 40 ⑩同／陽 59 ⑮ (を)

○おかしげに★大成 1375 ⑪ (新 156 ⑦)、池 88 才⑧同／河 42 ⑦ (を)、陽 61 ⑦ * 異文 (とりくにおかしくおひいて給
をかしむ) ◇△をかしはめる★大成 1358 ⑧ (新 139 ④)、陽 53 ④同／池 55 才④異 (お)、河 32 ⑧ (お)

〈をぎはら〉「荻原」◎おきはら★大成 1320 ⑫ (新 101 ③)、池 16 才⑧同、河 10 ①同、陽 31 ⑩同

〈をぐらし〉「小暗」◇○をぐらき★大成 1313 ⑩ (新 83 ⑮)、池 7 才⑤同、河 5 ⑭同／陽 27 ⑩ * 異文 (ぐらき)

〈をぐらのやま〉「小倉の山」◇○をぐらの山★大成 1349 ③ (新 130 ②)、池 53 才⑦同 (をぐらのやま)、河 26 ⑩同 (をぐらのやま)／陽 43 ③ (お) (をがまし) ○おこかましき★大成 1320 ⑥ (新 100 ⑫)、池 15 才⑦同、河 9 ⑭同／陽 31 ⑤ (を) ◇△をこかましく★大成 1321 ⑥ (新 101 ⑪)、

陽 31 ⑭同 (をこかましう)／池 17 才②異 (お)、河 10 ⑦ (お) ○おこかましう★大成 1334 ⑥ (新 114 ⑬)、池 33 才⑦同／河 18 ④ * 異文 (しれかましう)、陽 39 ② * 異文 (しれかましう) ○おこかましう★大成 1335 ② (新 115 ⑩)、池 34 才⑧同、河 18 ⑫同／陽 39 ⑧ (を)

○おこかましう★大成 1357 ⑥ (新 138 ③)、池 64 才④同、河 31 ⑭同／陽 51 ⑩ (をこかましく) ○おこかましうも★大成 1364 ⑬ (新 145 ⑧)、池 73 才⑪同、河 36 ①同／陽 55 ⑨ (を) ○おこかましき★大成 1369 ③ (新 149 ⑬)、池 79 才⑥同、河 38 ⑩同／陽 57 ⑭ (〔を〕こかましき)

〈をこつる〉「誘る」◇○をこつりと、む★大成 1332 ⑨ (をこつりと、む新 113 ①)、池 31 才⑧同 (をこつりとらむ) * 異文、河 17 ②同 (をこつりとらむ) * 異文、陽 38 ②同 (をこつりとらん) * 異文

〈をさなし〉「幼し」◇△心をさなく★大成 1320 ③ (新 100 ⑨)、陽 31 ④同 (こゝろをさなう)／池 15 才②異 (お)、河 9 ⑫ (お) ◇△心をさなき★大成 1326 ⑩ (新 107 ①)、陽 34 ⑩同 (こゝろをさなき)／池 23 才⑥異 (お)、河 13 ⑩ (お) ◇△をさなくて★大成 1337

① (新 117 ⑨)、陽 40 ⑨同 (こゝろをさなくて) * 異文、池 37 才⑨異 (こゝろおさなくて) * 異文、河 19 ⑭ * 異文 (こゝろおさなくて) ◇△をさなくより★大成 1347 ④ (新 128 ②)、陽 45 ⑬同 (をさなうより)／池 50 才⑨異 (お)、河 25 ⑭ (お) ◇△をさなく★大成

- 1356 ④ (新137 ②) 陽 50 ⑧ 同 (いゝろをさなう) * 異文 池 62 ウ ⑥ 異 (お) 河 31 ② * 異文 (心おさなへ) ◇△をさなきとをぞ★
 大成 1371 ⑥ (幼きとをぞ新151 ⑮) 池 82 ウ ⑥ (お) 河 39 ⑩ (おなまきとぞ) 陽 58 ⑭ (おなまきとぞ)
 <をさなげなり> 「幼げなり」 ◇○心をさなげに★大成 1364 ① (新144 ⑪) 池 72 ウ ⑩ 同 河 35 ⑩ (いゝろおさなげに) 陽 55 ① (お)
 ◇△をさなげなる★大成 1367 ⑨ (新148 ④) 池 77 ウ ④ 異 (お) 河 37 ⑫ (お) 陽 56 ⑯ (お)
 <をさまる> ○おさまらず★大成 1340 ⑬ (心もおさまらず新121 ⑥) 池 42 ウ ③ 同 河 22 ① 同 陽 42 ⑥ (を)
 <をさむ> ○おさめあふ★大成 1320 ⑦ (心もえおさめあふまじう新100 ⑬) 池 15 ウ ⑩ 同 河 9 ⑮ 同 陽 31 ⑥ * 異文 (をさめあらしう)
 ○おさめたてまつる★大成 1345 ④ (新120 ⑭) 池 41 ウ ⑤ 同 河 21 ⑫ 同 陽 42 ③ (をさめたてまつり給)
 ○おさめてはくる★大成 1362 ⑫ (新143 ⑦) 池 71 オ ⑨ 同 河 34 ⑮ 同 陽 54 ⑧ (をさめて侍)
 <をし> 「惜し」 ○おしき★大成 1353 ⑤ (新134 ③) 池 58 ウ ⑦ 同 河 29 ⑦ 同 陽 49 ⑧ (を) ○おしき★大成 1372 ⑥ (新152 ⑮) 池
 84 オ ① 同 河 40 ⑧ 同 陽 59 ⑧ (を)
 <をしげ> 「惜しげ」 △おしげ★大成 1357 ⑤ (何のおしげある身新138 ②) 河 31 ⑭ 同 池 64 オ ③ 異 (を) 陽 51 ⑩ (を)
 ○おしげなき★大成 1352 ⑬ (新133 ⑫) 池 58 オ ⑤ 同 河 29 ② 同 陽 49 ④ (を)
 <をしむ> 「惜しむ」 ○おしみかほに★大成 1331 ⑬ (おしみ顔がに新112 ⑥) 池 30 オ ⑩ 同 河 16 ⑬ 同 陽 37 ⑬ (を) ○おしみきこえ
 ★大成 1340 ⑤ (新121 ①) 池 41 ウ ⑥ 同 河 21 ⑭ 同 陽 42 ④ (を) ○おしまね★大成 1348 ⑩ (新129 ⑥) 池 52 ウ ⑤ 同 河 26 ⑪
 同 陽 46 ⑮ (を)
 <をしふ> 「教ふ」 ◇○をしへ給ふ★大成 1336 ⑤ (ふゝめき教へ給ふ。新116 ⑬) 池 36 オ ⑩ 同 (をしへたまふ) 河 19 ⑦ 同 (をしへたまふ) 陽
 40 ② 同 (をしへ給)
 <をしへ> 「教へ」 ◇○御をしへ★大成 1362 ⑫ (新143 ⑦) 池 71 オ ⑤ 同 河 34 ⑮ 同 陽 54 ⑧ 同 ◇○御をしへ★大成 1373 ⑥ (新153 ⑮) 池
 85 オ ② 同 河 40 ⑭ 同 陽 59 ⑮ 同
 <をどう> 「男」 ○おとこ★大成 1324 ⑤ (おとこの出で給くるを新104 ⑪) 池 20 ウ ⑦ 同 河 12 ④ 同 陽 33 ⑪ (を) ○おとこ★大成 1333 ⑭ (新
 114 ⑦) 池 33 オ ⑥ 同 河 17 ⑧ 同 陽 38 ⑮ * 異文 (をうらみこみ) ○おとこ★大成 1367 ⑭ (新148 ⑩) 池 78 オ ④ 同 河 37 ⑯ 同 陽

57③同 ○おとこ★大成1369⑧(新150③)、池80才⑦同、河38⑭同、陽57⑱同
 〈をとこぎみ〉「男君」○おとこぎみ★大成1360③(新150④)、池67ウ⑦同、河33⑥同(おとこ君)／陽53①(を)
 〈をの〉「小野」◇をの★大成1309⑪(新89⑫)、池2才②同、河3⑧同、陽25⑧同 ◇をの★大成1348⑩(新129⑧)、池52ウ④同、
 河26①同、陽46⑭同
 〈をのやま〉「小野山」◇をの山★大成1350⑭(新131⑭)、池55ウ③同(をのやま)、河27⑱同(をのやま)、陽48③同
 〈をのこ〉「男」◇をのこ★大成1315⑦(新95⑫)、池9才⑪同、河6⑬同／陽28⑪(お) ◇をのこ★大成1332③(新112⑩)、池
 30ウ⑦同、河16⑯同、陽37⑯同
 〈をひ〉「甥」◇をひ★大成1340④(新120⑮)、池41ウ⑥同、河21⑬同、陽42③同
 〈をみなへし〉「女郎花」◇をみなへし★大成1330⑩(新111③)、池28ウ⑦同、河15⑱同、陽37①同
 〈をやま〉「小山」◇を山★大成1311①(新91⑤)、池3ウ⑤同、河4⑤同、陽26③同(をやま)
 〈をり〉「折」○おり★大成1309⑦(新89⑧)、池1ウ⑤同、河3⑥同／陽25⑤(を) ○おり★大成1314④(新94⑩)、池8才①同、河
 6③同／陽27⑯(を) ○おり★大成1315①(新95⑤)、池8ウ⑩同、河6⑪同／陽28⑦(を) △おり★大成1330⑧(新110⑮)、
 河15⑯同／池28ウ④異(本行ナシ*補筆)はへるとふらひにわたりたまへるをりにて、陽36⑯(を)※大成1330⑦の校異「はへる
 とふらひにわたり給へるおりにて―補入池」の「お」は誤り。 ○おりに★大成1344⑨(新125⑤)、池47ウ①同、河24⑤同／陽4⑨(をり)
 △おり★大成1348⑭(新129⑭)、河26⑭同／池53才②異(を)、陽47①(を) △おり★大成1352①(新132⑮)／池57才③異(*
 当該語ナシ)、河28⑫*当該語ナシ、陽48⑮*当該語ナシ ○おり★大成1366⑩(新147⑤)、池76才⑩同、河37②同／陽56⑩(を)
 ○おり★大成1369⑪(新150⑥)、池80ウ①同、河38⑯同／陽58②(を) ○おり★大成1370①(新150⑩)、池80ウ②同、河39
 ①同／陽58④(を)
 〈をりから〉「折柄」○おりから★大成1346⑦(新127⑤)、池49ウ⑨同、河25⑥同／陽45⑩(を) ○おりからに★大成1348⑬(新129⑪)、
 池52ウ⑨同、河26⑫同(おりから)／陽46⑱(をりから)
 〈をりをり〉「折折」○おり〜★大成1318⑦(新98⑬)、池13才⑩同、河8⑪同／陽30④(を) ○おり〜★大成1325⑦(新105

⑬)、池 22 オ⑥同、河 12 ⑮同／陽 34 ④(を) ○おりく ★大成 1339 ②(新 119 ⑩)、池 5 オ⑥同、河 21 ①同／陽 4 ⑪(を) ○おりく ★大成 1347 ⑬(新 128 ⑩)、池 51 ウ④同、河 26 ③同／陽 46 ⑥(を) ○おりく ★大成 1349 ⑥(新 130 ⑤)、池 53 ウ③同、河 26 ⑮同／陽 47 ⑤(を)

二

大島本で、歴史的仮名遣いに一致する例(◇印)をみると、〈オ↓ヲ〉のグループでは用例数 234、〈ヲ↓オ〉のグループでは用例数 25 である。また、四本の仮名遣いがみな同じ例(◎印)は、〈オ↓ヲ〉では用例数 142、〈ヲ↓オ〉では用例数 16 である。

大島本と池田本との異同にとくに注目してみるために記号(○印)を付したが、この二本間で同じ仮名遣いの例は、〈オ↓ヲ〉では用例数 271 (◎印 142 + ○印 129)、〈ヲ↓オ〉では用例数 77 (◎印 16 + ○印 61) であった。また、仮名遣いが異なる例(△印)は、〈オ↓ヲ〉では用例数 44、〈ヲ↓オ〉では用例数 14 である。つまり、〈オ↓ヲ〉での同表記(271)と異表記(△印 44)との合計は 315、〈ヲ↓オ〉での同表記(77)と異表記(△印 14)との合計は 91 である。以上の結果に加えて、大島本と河内本、大島本と陽明文庫本、さらに池田本と河内本の関係について、それぞれ同表記の用例数を表にまとめると、次のようになる。⁶⁾

【表 1】 仮名遣いにおける同表記例 (オとヲ)

備考	同表記例		大島本と池田本	大島本と河内本	大島本と陽明文庫本	池田本と河内本
	〈ヲ↓オ〉	〈オ↓ヲ〉				
*〈オ↓ヲ〉漢字 表記 5 例を含む	77	271				
*〈オ↓ヲ〉漢字 表記 1 例を含む	77	263				
*〈オ↓ヲ〉漢字 表記 2 例を含む	23	162				
*〈オ↓ヲ〉漢字 表記 1 例を含む	83	271				

四本の仮名遣いを比較すると、大島本と陽明文庫本の同表記（仮名遣い）例は他と比べて少ない。前稿②④⑤でみた柏木巻・早蕨巻・行幸巻と同様に、夕霧巻でも、別本の陽明文庫本が他本と著しく異なることが明らかである。また、柏木巻の〈オ↓ヲ〉では、定家本は大島本よりもむしろ河内本との一致度が高かったのであるが、早蕨巻と行幸巻では、定家本は大島本、河内本のいずれともほぼ同じ一致度であった。この夕霧巻では、大島本と池田本との一致度が高いのであるが、池田本と河内本との一致度はそれよりやや高い。同じ青表紙本系統でありながら、池田本のほうが、大島本よりも河内本との距離に近いようにみえる。

次に、前稿②④⑤の柏木巻・早蕨巻・行幸巻での調査と同じく、便宜、大野晋の掲げた「藤原定家の仮名遣実例」などによって、定家の仮名遣いとの一致度をみることにしよう。⁷⁾

仮名遣いが他本と著しく異なる別本の陽明文庫本を除き、他の三本において、定家の仮名遣いと一致する語例（同表記例）をそれぞれ数えてみると、表Ⅱのようになる（大野の資料にない語例は、仮名遣いの確認ができないものとして表の数値には入れない）。

【表Ⅱ】定家の仮名遣いと同表記例／異表記例（オとヲ）

備考	異表記例		同表記例		
	〈ヲ↓オ〉	〈オ↓ヲ〉	〈ヲ↓オ〉	〈オ↓ヲ〉	
	13	21	76	262	大島本（大成／新）
	8 （補筆1含む）	18 （補筆2含む）	80	267	池田本
	3	14	84	263	河内本
	*ヲに「越」を含む				
					*他に異文多い

柏木巻・早蕨巻・行幸巻では、いずれも大島本・河内本と定家の仮名遣いとの一致度は高かった。夕霧巻では、池田本も加えて、三者の定家の仮名遣いとの一致度は高いといえよう。定家本とその系統の写本での一致度が高いのは当然のことともいえようが、やはり総じて河

内本の定家の仮名遣いとの一致度が高いことが注目されるのである。とりわけ河内本では、異表記例が一番少ない。

大島本を底本とする『源氏物語大成』校異篇の本文をもとに、オ・ヲの異同を比較したので、大島本の計34(21+13)例はすべてオとヲの違いである。池田本では、オとヲの違いは計26(18+8)例で、補筆部分を除けば、計23例となる。河内本は、オとヲの違いは、計17(14+3)例で最も少ないのであるが、比較の対象となる本文に、異文11例、当該部分(語)ナシが3例あつて、そもその本文上の問題も考慮しておかねばならない。

それぞれの異表記例をみてみると、大島本で特徴的なのは、「おす(押す)」とその派生語である。「おさふ(押さふ)」に加えて「おしはかる(推し量る)」も、その「おし」はもと「押し」だと考えると、これらは定家の仮名遣いではヲである。ところが、大島本では、6例はヲであるが、計14例がオである。また、「おとる(劣る)」もオであるべきが、オは1例のみで、ヲが5例ある。さらに、「をさなし(幼し)」も定家の仮名遣いではオなのに、「をさなし」6例すべてヲであるうえに、派生語「をさなげなり」も2例ともにヲである。

一方、池田本のほうは「押す」とその派生語19例(別に1例は、当該部分ナシ)すべて定家の仮名遣いどおりヲである。「おとる(劣る)」は、ヲが2例あるが、4例はオである。しかしながら、「おもて(面)」とその関連語をみると、定家の仮名遣いは「おもて」であるが、大島本は1例を除き、計10例がオであるのに対して、池田本では4例がオであるものの、7例がヲとなっている。ただ、大野晋の資料によれば、「きたをもて(北面)」「にしをもて(西面)」という例もみえて、この語については、表記のユレがみられるようである。

河内本も実は(オ↓ヲ)異表記14例のうち6例がこの「おもて」に対するヲ表記である。もし、これらの例を除けば、定家の仮名遣いと河内本との一致度がさらに高くなる。定家の仮名遣いという一面においては、同じ青表紙本系統でありながら、池田本は、大島本よりも河内本と近しい面があるようにみえる。

三

ここで、改めて池田本の本文そのものについての解説を少しみておくことにしよう。岡寫偉久子によれば、池田本は、

『源氏物語』五十四卷中の花散里・柏木巻を欠いて全五十二卷四十九冊。この内、後からの取り合わせである四卷四冊(賢木・東屋・蜻蛉・

手習卷)を除く四十八卷が成立当初の基幹の卷々である。

ということであり、

このような池田本は、『源氏物語』鎌倉写本中、成立当初の基幹卷を最も多く保持する伝本であり、同時に、その四十八卷の本文がすべて「青表紙本」で揃っていることは、「青表紙本」鎌倉写本において現在のところ他に例がない。

としている。また、

この基幹卷四十八卷は書写者がほぼ二手(甲筆・乙筆とした)に集約される。中でも甲筆とした三十六卷は整った一定の筆致であるというが、夕霧卷は甲筆卷である。

岡寫は、池田本夕霧卷の本文の冒頭一丁分について、大島本との対校を示しているが、その範囲では、両本の本文は極めてよく近似していると述べ、そのうえで、

卷を通してほぼ同様の傾向である。ただし、当卷は池田本で八十八丁と、比較的長い卷である。その中にはやはり、小規模ではあるが文言の有無・相違もわずかに存在している。

といい、主な箇所(8箇所)を示している。また、さらに当卷には比較的長い脱文が二箇所にある⁽⁹⁾、としてその本文を引いているが、ここで確認しておくことにしよう。

○池田本3オ⑥ *カッコ内が脱文箇所〔大成(大島本)1310⑨⑩の本文による〕

ことはもなつかしき所かきそへ給へるをいよ／＼みまほしう(めとまりてしけうきこえかよひ給猶ついにあるやうあるへきやう御なからひなめりと北方けしきとり給へればわつらはしくてまうてまほしう)

○池田本29ウ⑦ *カッコ内が脱文箇所〔大成(大島本)1347③の本文による〕

にひいろのき丁を(すたれのつまよりすこしおしいて、すそを)ひきそはめつゝゐたり

いずれも、大成の校異篇に用いられた諸本にはない、池田本独自の脱文である。この二箇所について、岡寫は、共に同語・同字に引かれたの目移りによる脱文であろう、とみている。筆者の調査によれば、次のような比較的長い両本の本文の違いもみられる。

(1) 池田本31ウ①(188頁)「いまめかしくなりかはれる御けしきのすさまじさも」

・大成（大島本）1332①「いまめかしむる」

これは、大成の校異篇に用いられた諸本（青表紙本・河内本・別本）でも池田本と同じで（音便形の異同は除き）、大島本独自の脱文と
いうことになる。

(2) 池田本20ウ③(246頁)「思ひとるかたありていますこしおもひしつめ」

・大成（大島本）1354⑩「おもひしつめ」

この例は、少し複雑で、大成の校異篇に用いられた諸本（青表紙本）でも池田本と同じで（河内本・別本もほぼ同じ）、やはり大島本独自の脱文ということになるかと思われるが、池田本も傍線部「つめ」は補入の箇所である。

次は、両本の違いではなく、池田本独自の誤りである。

(3) 池田本75ウ①(276頁)「よろつにきこえければさもあるへき事をこそきこえたまはめなどよろつにきこえければさもある事とは」

・大成（大島本）1366⑥「よろつにきこえければさもあること、とは」

傍線部は見せ消ちの箇所である。目移りによるか、写し誤りに気づき訂正した箇所である。

池田本には、わずか1字の補入も含めて三十余箇所の補入がみられるが、今回は紙幅の関係で逐一の指摘を省略する。

四

はじめに述べた、大島本の行幸巻・夕霧巻における「たまふ」のウ音便の著しい偏在の指摘（今西祐一郎による）をもとに、加藤洋介⁽¹⁰⁾、大島本・伝定家筆本を中心に、行幸巻での「たまふ」にかかるウ音便に関する諸本の異同状況を具体的に検討している。そして、列挙した二十八例すべてについて、「伝定家筆本の音便表記を大島本も継承している」といい、さらには、

「横池三穂」（横山本・池田本・日大三条西家本・穂久邇文庫蔵本＝筆者注）という伝本群は、音便に関わる異同以外においても、行幸巻の定家本系統諸本の異同状況の基本的構図を構成している。大島本・伝定家筆本と対立する異同が、この四本を中心に形成されているのである。

と述べる。今西は、ウ音便の、巻による偏在から、「定家書写本の段階で、その元の本はすでに取り合わせ本だったのではないか」というが、加藤もこれを受けて

五十四帖仕立てを原則とする源氏物語において、音便表記の原則が異なる巻が存することからすれば、定家本がすでに取り合わせ本であつたとしてもおかしくはない。

として、

さらに音便のみならず本文異同についても「横池三穂」という伝本群がまとまった動きをしているということは、この異同が定家本成立以後の転写過程において発生した可能性は否定できないものの、この伝定家筆本とは異なる時点で成立した、定家本源氏物語の姿を留めていることも想定できるのではあるまいか。

と考えている。

今西は、実はウ音便のことに加えて（入手したデータの報告の紹介ではあるが）、仮名遣いについてもふれていて、このことも「大島本のもとが取り合わせ本であつたことを暗示する現象なのかもしれない。」と述べている。それは、「をかし」「おかし」というオ・ウ表記の卷々による偏りである。⁽¹²⁾

以下には、夕霧巻の特異な表記、あわせて池田本と大島本との異同について、みていくことにしよう。

本稿のはじめにでもふれ、前稿⁽⁴⁾でも述べたことであるが、「おもたまへ（を）もたまへ」という特異な表記は、源氏物語（大成・校異篇）に全9例しかない。そのうち7例までもが夕霧巻に集中しているのである（ただし、うち1例は「おもたまふる」。それらを、あらためて掲げることとする。

〈1〉△大成（大島本）1316⑧「おもたまへよらさりける」

・池田本10ウ⑨（15頁）「おもたまへよらさりける」 *大成・校異欄に池田本はナシ

〈2〉△大成（大島本）1323②「おもたまへなすにも」

・池田本19オ④（163頁）「おもたまへなすにも」 *大成・校異欄に池田本はナシ

〈3〉大成（大島本）1341③「おもたまへたゆみ」

・池田本 43才① (211頁) 「おもふたまへたゆみ」 *大成・校異欄に池田本アリ

〈4〉△大成 (大島本) 1352⑨ 「おもたまへらむけしき」

・池田本 57ウ⑦ (240頁) 「おもたまへらむけしき」 *大成・校異欄に池田本はナシ

〈5〉大成 (大島本) 1356② 「おも給ふるには」

・池田本 63ウ② (250頁) 「おもたまふるには」 *大成・校異欄に池田本はナシ

〈6〉○大成 (大島本) 1359⑥ 「おもたまへわかれす」

・池田本 66ウ⑧ (258頁) 「おもたまへわかれす」 *大成・校異欄に池田本はナシ

*校異欄によれば、肖柏本は、「おもたまへ」に「ひ」の補入あり。

〈7〉△大成 (大島本) 1361② 「おもたまへなりぬるを」

・池田本 68ウ⑩ (262頁) 「おもたまへなりぬるを」 *大成・校異欄に池田本はナシ

右のうち、〈3〉の例は、大島本だけが特異な表記なので、大成・校異欄で池田本を取り上げるが、他の6例については、校異欄で池田本を取り上げない。それは、校異欄では、オ・ヲの違いまでは示さない、あるいは、(漢字・仮名表記の違いはあるもの) 語形の異同がないからである。そのオ・ヲの違いで印を付したが、○印は、両本で表記が同じで1例、△印は、両本でオ・ヲ表記が異なり4例ある。語形と仮名遣いのうえから特異な表記が両本の本文にほぼ共通して存するものの、子細にみれば、仮名遣い・漢字表記の違いで両本はほぼ重ならない。

「おもたまへ」に関連して、これもまた前稿④でふれた「たまで」などの表記についてみると、岡寫⁽¹³⁾によれば、池田本では巻によってこのような例がみえるという。夕霧巻では、3箇所を指摘しているが、他にもみられるので、大島本などと比較しつつ掲げてみよう。

〈1〉大成 (大島本) 1336③ 「きこえたまで」 (新115⑪) 〓影印 35ウ③

・池田本 36才⑤ (197頁) 「きこえたまで」――きこえたまで河19⑤、きこえ給て陽5①、大成・校異たまで―給て横三

〈2〉大成 (大島本) 1358⑬ 「わたりたまで」 (新139⑩) 〓影印 2才⑤ 「まで」の右に「ウ」と傍記)

・池田本 66才③ (257頁) 「わたりたまで」――わたりたまで河3⑪、わたり給て陽5②⑦、大成・校異―わたりたまで横三

*新大系139頁脚注「渡りたまで」||「たまで」は「たまひて」。

〔3〕大成(大島本) 大成1368⑥「なすらへたまで」(新195①) || 影印26オ⑦(「まで」の右に「ウ」と傍記)

・池田本18ウ⑥(288頁)「なすらへたまで」|| おほしなすらへて河38②*異文、おほしなすらへ給て陽57⑦*異文、

大成・校異「たまで」―たまうて三

次は、「たまける」の例である。

〔4〕大成(大島本) 1375⑪「おひいてたまける」(生ひ出でたまける。新195⑦) || 影印85ウ⑧(「まけ」の右に「ウ」と傍記)

・池田本8オ⑧(301頁)「おひいてたまける」|| おひいて給ける河2⑦、おひいて給陽2⑧*異文、

大成・校異「たまける」―給ける横三

あと1例あるが、これは池田本では「たまひて」である。

〔5〕大成(大島本) 1327④「したまでも」(着かへなどしたまでも新107⑨) || 影印24オ③

・池田本24オ⑨(173頁)「したまひても」|| したまでも河13⑩、し給ても陽35③(「給て」重ね書き)、

大成・校異「したまでも」―し給ても横三 *新大系108頁脚注「したまでも」|| 「したまひても」の転。

「たまふ(給ふ)」という語は、言うまでもないが、源氏物語全体で夥しい数を用いられている。ところが、『源氏物語用語例総索引 自立語篇』によれば、「たまで」はわずか19例で、ほかに「たまける」が3例あるのみである。あわせても22例しかないにもかかわらず、夕霧巻にはこのうち8例も存する。「おもたまへ」と同じく、この特異な表記が夕霧巻に集中している。ただ河内本にも「たまで」がみえることに留意したい。

五

今回、「女(をんな)」という語は、漢字表記が多く、挙例の対象外とした。源氏物語(大成・校異篇)全体での数値を、前記の索引により数えてみると、「女243例 をんな12例 おんな1例 をむな2例」となるが、「女な」という特異な表記が夕霧巻に1例のみみえる。

・大成(大島本) 1333 ⑩(新14)③「女なはは」|| 影印 32オ⑨ *新大系14頁脚注「女なはは」|| 青表紙他本多く「女は」。

・池田本 32ウ⑨ (190頁)「女なはは」|| 女は河17⑮、女は陽 38⑬、大成・校異「女なはは」|| 女は横肖三
池田本と大島本の二本だけが特異な表記で一致している。

「おもふ(思ふ)」(複合動詞・名詞形を含む)も、数量がすこぶる多く、今回挙例の対象外とした。夕霧巻における仮名・漢字表記の別のみ数値をみておこう。その前に、関連する「おほす(思す)」をみると、大島本161例すべて仮名表記でオの仮名遣いである。池田本も同じように(1例の異文を除き)160例すべて仮名表記でオの仮名遣いで、表記が安定している。ところが、「おもふ(思ふ)」(計157例)のほうは、

大島本 || 「お」仮名141例、「思」漢字14例、「を」(前掲の「をもたまへ」) 2例

池田本 || 「お」仮名97例、「思」漢字57例、「を」(前掲の「をもたまへ」) 2例、異文1例

河内本 || 「お」仮名132例、「思」漢字21例、「を」ナシ、異文4例

というように、大島本は(河内本も同様)仮名表記が圧倒的に多い。池田本のほうは漢字表記もかなりある。書本(親本)の仮名・漢字表記をそのままどこまで継承しているのかつまびらかではないものの、両本の明らかな違いであると思われる。

ここで、前述の「をさなし(幼し)」について、さらに索引で検索してみると、「おさなし」だけでなく、「をさなし」という表記は他巻にもみえる。ただ、夕霧巻では、大島本のすべての例がヲの仮名遣いであった。これに対して池田本はすべてオの仮名遣いである。たとえば、「をり(折)」(10例)「をりから(折柄)」(2例)「をりをり(折折)」(5例)をみると、大島本ではすべて定家の仮名遣いどおりオの仮名遣いである。特定の語について、なぜ大島本は定家の仮名遣いと異なるのであるだろうか。

ここまでみてきて、大島本と池田本とは、互いに密な部分と、相反して距離のある部分とが混在しているようである。また、夕霧巻の特異な表記・仮名遣いなどのうえから、先学のいうような「定家本がすでに取り合わせ本であった」とみる可能性は強まったように思われる。大内英範¹⁵⁾は、池田本の帚木巻について詳しく分析し、

池田本の祖本文が、現在「青表紙本」と分類されている諸本の祖形となったと考えられる……(中略)……その祖形となった本文の表記が定家由来の表記ではないとするなら、本文自体も、定家由来ではなく、定家の手の入る前の本文であった可能性が浮上する。池

田本帯木は、定家以前の本文、すなわち、おそらくは平安朝本文を忠実な形で今に伝える、貴重な写本なのではないかと思われるのである。

と述べている。池田本帯木本文の古態性を論じているのであるが、夕霧巻にみえる特異な表記もまたこのような古態性が今に残るものとみることができないであろうか。池田本文への詳細な分析とともに機会を得てなお考察したい。

〔注〕

(1) 今西祐一郎「表記を検索する」〔源氏研究〕第6号、2001年4月。

(2) 本稿では、筆者が先に執筆した前稿について、次のように番号を付した。

前稿①は、「源氏物語玉鬘巻古写本の表記―歴史的仮名遣いと定家仮名遣い―」〔國學院大學栃木短期大学紀要〕第48号、2014年3月。前稿②は、「源氏物語柏木巻古写本の仮名遣い（上）―定家本と大島本・河内本・陽明文庫本―」〔國學院大學栃木短期大学紀要〕第51号、2017年3月。前稿③は、「源氏物語柏木巻古写本の仮名遣い（下）―定家本と大島本・河内本・陽明文庫本―」〔國學院大學栃木短期大学紀要〕第52号、2018年3月。前稿④は、「源氏物語早麻巻古写本の仮名遣い―定家本と大島本・河内本・陽明文庫本―」〔國學院大學栃木短期大学紀要〕第53号、2019年3月。前稿⑤は、「源氏物語行幸巻古写本の仮名遣い―定家本と大島本・河内本・陽明文庫本―」〔國學院大學栃木短期大学紀要〕第54号、2020年3月。

(3) ①は、大島本を底本とする、「源氏物語大成」巻二・校異篇ならびに新日本古典文学大系（岩波書店）の源氏物語（以下、新大系本という）の本文による。新大系本は、その凡例によれば、「底本の本文を尊重し、手を加えないことを原則」としている。また、「仮名遣いは、底本のままとし、本文が歴史的仮名遣いに一致しない場合には、（ ）でそれを傍記する。」とある。なお、附入古代学協会・古代学研究所編『大島本源氏物語』第七卷（1996年）の影印本文を適宜参照する。

②は、新天理図書館善本叢書第19巻『源氏物語池田本七』第三十四冊夕霧（2017年）の影印にもとづき、筆者が翻字した本文を使用した。その際、仮名の字体は現行のものに改めたが、ヲについては、「を」と「越」の区別を残した。なお、池田本の「お」の字母はすべて「於」の草体である。

③の尾州家河内本源氏物語の本文については、秋山慶・池田利夫編『尾州家河内本源氏物語』第四卷（1978年）夕霧巻の翻刻により、『尾州家河内本源氏物語』第七卷（2012年）の影印本文を適宜参照する。

④の陽明文庫源氏物語の本文は、陽明叢書国書篇第十六輯『源氏物語十一』（1981年）夕霧巻の翻刻により、また、陽明叢書国書篇第十六輯『源氏物語十一』（1981年）の影印を適宜参照する。

(4) 前稿②から⑤では、それぞれで対象とした四本すべてが歴史的仮名遣いに一致する語は除いた。すなわち、四つの本文のうち、少なくともいずれか一つには歴史的仮名遣いに一致しない用例のみられる語例について、その異同を調べたのであるが、本稿では、すべてオとワの仮名遣いを取り上げる。

ただし、紙幅の関係で、後述するが、「おもふ」など一部の語は挙例を略した。また、独自の異文にみえるオ・ヲ（陽明文庫源氏物語に顕著である）についても挙例を略した。

(5) 池田本のヲについては、字母「越」はそのまま掲げて、「を」と字母の違いがわかるように示したが、オ・ヲ表記の別では、「を」「越」は同表記として扱った。なお、陽明文庫源氏物語の□印は、虫損・汚損などによる翻字不能な箇所である。また、囲み文字は、推読しうる場合である。

(6) 異文で、音便形・非音便形、活用形などの違いがあつても、オ・ヲの仮名遣いが同じであれば、同表記として扱った。「をのかとち」と「をのかしし」もヲの同表記例とした。

(7) 大野晋「仮名遣の起源についての研究」（『仮名遣と上代語』所収、1982年）の本文および「仮名遣の起源についての研究」資料の「一 藤原定家の仮名遣実例」。同「仮名遣の起源について」（『国語と国文学』1950年12月号）参照。

(8) 新天理図書館善本叢書第13巻「源氏物語 池田本一」（2016年）の岡嶋偉久子「源氏物語 池田本」解題「書誌的概要」による。

(9) 新天理図書館善本叢書第19巻「源氏物語 池田本七」（2017年）の岡嶋偉久子「各巻の書誌的事項」による。

(10) 加藤洋介「伝定家筆 源氏物語行幸巻の出現」（大阪大学国語国文学会「語文」第百十一輯、2018年12月）。

(11) 注（1）今西論文。

(12) 注（1）今西論文中に紹介された報告によれば、

大島本（『源氏物語大成』による）の空蟬、夕顔、末摘花、紅葉賀、花宴、葵、須磨、蓬生から朝顔までの巻々では「をかし」がすべて「おかし」と表記され、又若紫、賢木などの巻でも「をかし」は一、二回しか現れず、それ以外の巻々においても総じて「おかし」表記が圧倒的である。にもかかわらず、帯木、少女、初音、紅梅の巻々に限ってはその逆、すなわち、ごく少数の例外を除いてほとんどを「をかし」の表記が占めているのである。

という。

(13) 注（9）に同じ。

(14) 前掲の『源氏物語用語総索引 自立語篇』の第五巻（1994年）による。

(15) 大内英範「源氏物語 鎌倉期本文の研究」（2010年）の第三部「池田本の本文―平安期本文を求めて―」参照。